

令和2年度 東京都立田園調布高等学校 学校経営報告

2年度の経営目標	実施内容等
<p>1 授業の充実 (学習指導)</p>	<p>進学指導研究校アソシエイトの指定を受け、学習指導力、授業力の向上に組織的・計画的に取り組み、今年度はオンライン授業の充実を目指し、教員の研修会や動画配信等で生徒への学びの補償が出来るようにした。</p> <p>① 学力スタンダード事業の実施を通して、年間指導計画に基づく授業を計画的に実施した。</p> <p>② 生徒による授業評価を年間2回実施し、評価結果を授業改善に生かした。</p> <p>③ 年間5回の学力テスト(外部模試)及び学力テスト分析会の実施を通して、学習指導の成果検証を行い、授業及び指導方法の改善に生かした。</p> <p>④ 臨時休業期間等での学習指導停滞を防ぐためオンライン授業を行い、そこでの成果をTOKYOスマート・スクール・プロジェクト導入に向けて発展させるため、東京都中部学校経営支援センター特別指定校として、管内都立学校を対象とした研修会を実施した。</p> <p>⑤ 夏季休業日中の講習、通年の土曜講習、センター試験直前講習を計画的に実施し、大学入試を意図した学力向上を図った。</p> <p>⑥ 生徒の能動的な学習を促すICTの効果的な活用やアクティブ・ラーニング型の授業実践が普及しつつある。高大接続改革に的確に対応するため、更なる普及推進を図っていく。</p> <p>⑦ 自習室を整備して効率よく学習できる環境を整えた。</p> <p>⑧ 外部人材を活用して主権者教育の充実を図った。</p>
<p>2 進路指導の 充実</p>	<p>田高進路プロジェクトに基づき、進路指導部、学年、教科が協働し、進路指導を計画的に行った。また、これを発展させるために、ビジュアルスコープを作成し、指導の見える化を図った。</p> <p>① 2年生を対象とした大学出張講義(9講座:国公立大7講座、私立大2講座)を12月に実施し、大学での学習について生徒の理解を深め関心を高めるとともに、進路意識の啓発を図った。</p> <p>② 3年生を対象とした大学別入試説明会を7月から11月までの間に6回実施し、各大学の特色及び入試状況について生徒の理解を深めるとともに、進路希望実現に向けたモチベーションアップにつなげた。</p> <p>③ 第3学年では大学進学に係る内容の保護者会を実施し、保護者への情報提供を計画的に行った。</p> <p>④ 年間5回の学力テスト(外部模試)及び学力分析会の実施を通して、生徒一人一人の学力状況を把握し、進路支援に生かした。</p> <p>⑤ 年間2回の面接週間における二者、三者面談、進路指導部による進路相談等を活用し、進路情報の提供及び進路相談の充実に努め、進路希望実現を支援した。</p> <p>⑥ 8月に実施した夏季集中型学力向上講習(1・2年生)、通年の学年集会を通して、進路意識の醸成、団体戦の意識高揚に努めた。</p>
<p>3 生活指導の 充実</p>	<p>① スクールカウンセラーによる教育相談を生かし、専門医・特別支援教育心理士派遣事業を活用した専門的な教育相談と連携した対応がとても良く行えた。またスクールカウンセラーを交えた教育相談委員会を例月開催し、いじめや不登校等の未然防止及び心の悩み相談に組織的・計画的に取り組んだ。</p> <p>② 専門医派遣事業の取組として、精神科医による心の健康教室、産婦人科医による思春期講座を開催し、心身の健康の保持増進に努めた。</p> <p>③ 1年生を対象とした情報リテラシー講座を、所轄警察署と連携し実施した。</p> <p>④ 「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめアンケートを年間3回実施し、</p>

	<p>いじめの早期発見及び未然防止に組織的・計画的に取り組んだ。</p> <p>⑤ 学校安全計画の全体計画に基づき、所轄警察署、消防署、近隣町会、消防団と連絡を密にとり、発災を想定した避難訓練を年間3回、計画的に実施した。</p> <p>⑥ 年間2回実施した生徒の生活実態調査に基づき、基本的生活習慣、学習習慣の確立に向けた指導を組織的に行った。</p> <p>⑦ 校内外での挨拶励行の推進、チャイム着席、チャイム教卓遵守による生活規律確立に組織的に取り組んだ。</p> <p>⑧ 教職員を対象とした校内研修を年間3回実施し、人権尊重の精神及びコンプライアンスの徹底を図るとともに、体罰・暴言等の防止に向けた意識啓発に努めた。</p>
<p>4 特別活動、部活動の充実</p>	<p>① エンジョイスports・プロジェクト・モデル校の指定を受け、体幹トレーニングやメンタルトレーニング教室、熱中症予防教室を実施し、心身の健康の保持増進、体力の維持向上を図り、部活動の活性化に取り組んだ。全校生徒の部活動加入率は84%で、運動部、文化部ともに活発に活動している。今年度は各大会が中止となる中、数少ない大会において実績を残した部活動もある。</p> <p>令和2年度 部活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上部 男子走幅跳で69期生が第5位 ・剣道部 三段合格 1名 ・女子バスケットボール部 <p>2020 Tokyo Thanks Match 3回戦進出、東京都新人戦 3回戦進出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生物部 <p>令和2年度 Tokyo サイエンスフェア（主催：東京都教育委員会）にてポスター発表「キンギョのヘルペスウイルス性造血器壊死症（HVHN）における水温と発病の関係」</p> <p>② 体育祭、文化祭（ぼろにあ祭）、合唱祭の3大行事について、今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため中止となった。</p> <p>③ ビブリオバトルを12月に実施し、読書活動を推進するとともに、表現力やプレゼンテーション能力の向上に努めた。</p> <p>③ オリンピック・パラリンピック教育の一環として計画した、オリンピック出場選手による講演会、中部フェスタへの学年単位での参加、保健委員会でのボッチャ紹介活動、生徒会や保健委員会でのリサイクル活動も中止となった。</p>
<p>5 関係諸機関との連携・学校PR</p>	<p>① 1年生は「人間と社会」（総合的な探究の時間で代替）における授業において各クラス単位で感染症対策を行いながら映画祭を実行した。防災訓練などの各種ボランティア活動は中止となった。</p> <p>② 2回の学校見学会、3回の学校説明会、外部会場における合同相談会、合同説明会、個別の学校見学をオンライン中心に実施した。</p> <p>③ ホームページを年間170回更新し、本校の教育活動の様子を、中学生をはじめ広く都民に発信した。また、保護者との連絡にはプリントやホームページに代えて、Classi等を活用するように改めた。</p> <p>④ 教育活動の様子を来校者に紹介するため、美術、書道作品、社会科、総合的な探究の時間における学習成果等の校内展示を行った。</p> <p>⑤</p>
<p>令和2年度の主な学校説明会等の来校者数</p>	
<p>① 第1回学校見学会(7.20)……1,086名</p> <p>③ 第1回学校説明会(10.13)……中止</p> <p>⑤ 第2回学校説明会(11.2)…632名</p> <p>⑦ 第5回学校説明会(3.3) ……中止</p>	<p>② 第2回学校見学会(8.17)………1,082名</p> <p>④ 都立高校等合同説明会(オンライン)(10.27)…24名</p> <p>⑥ 第3～4回学校説明会(11.30, 1.11)…中止</p>

令和2年度の数値目標	令和2年度実績
① 大学現役合格者数 ・国公立大 10名以上 ・難関私大（早慶上理） 10名以上 ・私大（GMARCH） 50名以上	① 大学現役合格者数 ・国公立大（東工大・東北大 他） 6名 ・難関私大（早慶上理） 5名 ・私大（GMARCH） 35名
② 生徒による授業評価における学習指導「指導方法、指導内容の工夫」について、肯定的評価 85%以上	② 肯定的評価 90%
③ 生徒の授業以外の学習時間の目安を、1年生2時間、2年生3時間、3年生4時間として、各学年の達成目標 30%以上	③ 達成率 （1年生:19.6%, 2年生:4.9%, 3年生:49.8%） 25%
④ 12月時点での1・2年生の部活動加入率 90%	④ 12月時点での1・2年生の部活動加入率 84%
⑤ 入学者選抜応募倍率を、 ・推薦 2.5倍以上 ・分割前期 1.8倍以上 とする。	⑤ 入学者選抜応募倍率 ・推薦 2.9倍 ・分割前期 1.9倍 ・分割後期 1.9倍
⑥ 東京都体力・運動能力調査の体力合計点の平均値を、東京都平均以上とする。	⑥ 東京都体力・運動能力調査の体力合計点の平均値 ・男子 49.7（東京都平均 51.2） ・女子 51.8（東京都平均 50.5）

翌年度以降の課題と改善策

- 教育庁指導部特任教授の学校訪問による指導（進学指導研究校アソシエイト指定による）、ICT機器を活用したオンライン学習の実施と発展（特別指定校指定による）を通して指導体制の向上を進めた。また、指導の見える化を進めるためにビジュアルスコープを作成した。来年度はこれまでの成果を活用して、より機能的な業務改善を進め、継続性のある指導体制の向上を図る。
- 進路指導では、大学出張講義、フォーラム 21 による社会人講座等を1年生から計画的に実施し、進路意識の啓発に努めた。今後は田高進路プロジェクトを発展させ、数値に基づく指導体制を高め、より計画的なキャリア教育を推進し、学びへの探究心を高めていく必要がある。
- エンジョイスポーツ・プロジェクト・モデル校の指定を受け、体育の授業における基礎的トレーニング（筋力トレーニング、ランニングによる一校一取組）、心と身体を鍛える講座等を計画的に実施し、生徒の体力の維持向上やスポーツへの関心の向上に役立てた。これまでの成果を生かしながら、より多くの生徒を育むために、次年度は戦略的な計画を策定していく。
- スクールカウンセラーによる教育相談が生徒や保護者、教員のニーズへ真摯に応えてきた。また、スクールカウンセラーと特別支援教育心理士や専門医が良好に連携でき、効果的な対応が進められた。相談機能の充実に係る取組を、引き続き推進していく。
- 本校への志望者数を増やすための戦略的な募集対策活動を計画・実践し、入学者選抜における応募倍率の向上を昨年度に引き続き実現した。今後はこれらの取組が継続的に行い発展できるよう、生徒・保護者の期待やニーズに応える教育活動を推進しながら、募集対策活動を推進していく。